

令和 7 年 7 月 13 日

東員町議会 教育民生常任委員会

委員長 片松雅弘 様

東員町議会 議員 大崎昭一

研修報告書

研修期間	<u>令和 7 年 7 月 10 日 (木)</u>
研修（視察）先	東員町健康長寿課
目的（テーマ等）	がん検診の現状と今後について
参加議員名 (複数の場合)	片町雅弘、三林浩、川瀬孝代、山崎まゆみ、伊藤まり、大崎昭一
資料添付の有無	無

※ 研修概要、内容、所感

※ などは、次ページにご記入ください。

〔議員氏名：大崎昭一〕研修概要、内容、所感

「がん検診の現状と今後について」をテーマに健康長寿課の活動を勉強しました。

本町が行っているがん検診は国の指針に基づき①胃がん健診40歳以上 ②子宮頸がん検診（20歳以上） ③肺がん検診（40歳以上）④乳がん検診（40歳以上） 大腸がん検診（40歳以上）と町独自で前立腺がん検診（55歳以上の男性のみ）を年一回実施している。

がん検診は早期発見、早期治療により、がんでの死亡率減少を目的としている。令和5年度のがん検診で2名が早期発見となり精密検査を病院で受診された。その後の状況はつかむことはできない。

対象者には毎年2月ごろに封書で案内を郵送している。
失念された方から申請があれば再発行をしている等の取り組みを説明ただいた。
質疑の中で、町民の健康長寿は自己責任が基本であるが、自治体としても国の指針に則り、行政業務を行っている。

今後の取り組みでは、人間の心理には「正常バイアス」というものがあり、自分に限ってマサカ、がんには罹患しないだろうという心理状況もあるので、担当課としては、がん検診の必要性について、「広報とういん」等あらゆる機会を通じて、町民に周知する取り組みをする旨、要望しました。

以上